

# 資料編 1

## ( 1 ) 単元の評価規準及び指導と評価の計画

### 1 単元の評価規準

	ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・ 判断	ウ 観察・資料活 用の技能・表現	エ 社会的事象につ いての知識・理解
単 元 の 評 価 規 準	地域に残る史跡や先人の働きに興味を持ち、意欲的に調べ、そこにある願い・努力を考慮することを通して、地域に対する誇りと愛情を持つようとする。	地域に残る史跡から、学習課題を見だし、追究・解決することで、史跡に託された人々の願いや努力を考え、それぞれが密接に関連していることを具体的に考えようとする。	地域に残る史跡について、めあてをもって資料調べるとともに、その結果を工夫してまとめたり、考えたことをわかりやすく表現する。	先人たちの築いた史跡や人々の願いや努力がわかり、史跡が今でも残っている理由を理解している。
学 習 活 動 に お け る 具 体 の 評 価 規 準	地域の史跡について関心を持ち、意欲的に調べながら追究している。  地域の史跡が造られた歴史的な背景について関心を深め、地域社会に対する愛情を持ち、守っていこうと願う。	地域の史跡について問題意識を持ち、学習の見通しをもって追究・解決している。  史跡に託された願いや努力について事実や他の考えなどから適切に判断し、自分の考えをもっている。	地域に残る史跡を見学、調査したり、それらの保存に携わる人から聞き取り調査したり、郷土史料などから具体的に調べている。  調べた過程や結果と考えたことをわかりやすく表現している。	地域に残る史跡の内容や由来、地域に受け継がれている様子などがわかっている。  地域に残る史跡には、造られた当時の人々やそれらを守り受け継ぐ人々の願いや努力が込められていることがわかっている。

### 【社会的事象への関心・意欲・態度】

学習活動における 具体の評価規準	「十分満足できる」状況（A）を実現していると判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導のてだて
ア の	・児童の表情の観察や発言、ノート記述の内容の分析などから、地域の史跡についてや、そこにまつわる由来や伝承など問題意識を持ち、意欲的に見学、調査し、問題解決につながる事実を見つけだそうと判断できた。	・見学や調査の過程で、問題意識や追究意欲が持続できない児童に対しては、その原因を探り、個別に指導、支援をする。 ・地域にの史跡について、何があるのかなどまとめ直し、家の近くにあるであろう史跡について問題意識が持てるよう個別に指導・支援する。
ア の	・発言やカード記述の内容の分析から、人々の願いや苦勞がわかり、地域社会で生活している一員として、史跡など昔の人々から受け継いできたものを大切に、後世へ伝え守っていこうとする気持ちをもとうとしていると判断できた。	・史跡を守る大切さなどを自分の生活と結びつけて考えようとしていない児童については、参考となる学級内の児童の考え方を取り上げ、「どうしてそのように考えたのか」など具体的な問いを投げかけて、教師と共に考えるなど、個別に指導・支援する。

【社会的な思考・判断】

学習活動における 具体の評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現していると 判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断し た児童への指導のてだて
イ の	地域の史跡に について問題 意識を持ち、 学習の見通し をもって追究 ・解決してい る。	・行動観察やカード記述の内容の分析 などを通して、自分なりの考えや予想 を持ち、自分の追究のめあてや解決の 見通しを持って調べ、考えが次第に深 まり、学習の問題を根拠をもってより よく解決していると判断できた。	・学習の見通しが持てない児 童に対しては、調査計画を自 力で完成し、学習の見通しが 持てるまで、対話を図りなが ら個別指導を繰り返す。 ・追究の内容を見失った児童 には、学習の問題や追究のめ あてを確認させるなど個別に 指導・支援する。
イ の	史跡に託され た願いや努力 について事実 や他の考えな どから適切に 判断し、自分 の考えをもっ ている。	・発言やカードの記述の内容の分析を 通して、史跡に関する事実や昔の人々 の生活の様子、産業の様子などを関連 づけて考え、「豊かな生活を願い、そ れの実現に向けて、努力を重ねてきた」 という考えを、現在の社会生活の目指 すものと関連させて考えていると判断 できた。	・どう考えたらよいか分から ず、困っている児童に対して は、調べる前の考えと調べて みて、考えが変わったり、は っきりしたことはないかなど 、対話の中で問いかけをする など児童の考えの糸口が見い だせるように指導・支援す る。

【観察・資料活用の技能・表現】

学習活動における 具体の評価規準		「十分満足できる」状況（A）を実現していると 判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断し た児童への指導のてだて
ウ の	地域に残る史 跡を見学、調 査したり、そ れらの保存に 携わる人から 聞き取り調査 したり、郷土 史料などから 具体的に調べ ている。	行動観察やカード記述の分析を通して ・例示された資料から史跡にかかわる 事実を見つけ、具体的に読みとっている。 ・調査見学に出かけ、石塔や碑文、案 内板などに記述されている内容に着目 し、具体的に読みとっている。 など、具体的に問題解決に結びつけな がら適切に調査し、記録をしていると 判断できた。	・見学や聞き取り調査におい て、それぞれの事実を具体的 に調べられなかった児童に対 しては、写真などの補足的な 資料を使い、調査をしてとら えさせたかった事実をつかま せるだけでなく、見学や調査 の方法についても個別に指導 する。
ウ の	調べた過程や 結果と考えた ことをわかり やすく表現し ている。	・作品の分析を通して、イラストを活 用したり、思考過程がはっきりと分か りやすく表現されていると判断でき た。	・まとめの活動に取り組めな い児童については、集めた資 料のどの事柄を使ってまとめ るのか、その子なりの表現方 法を大切にしながら、よさが 生きるよう支援する。

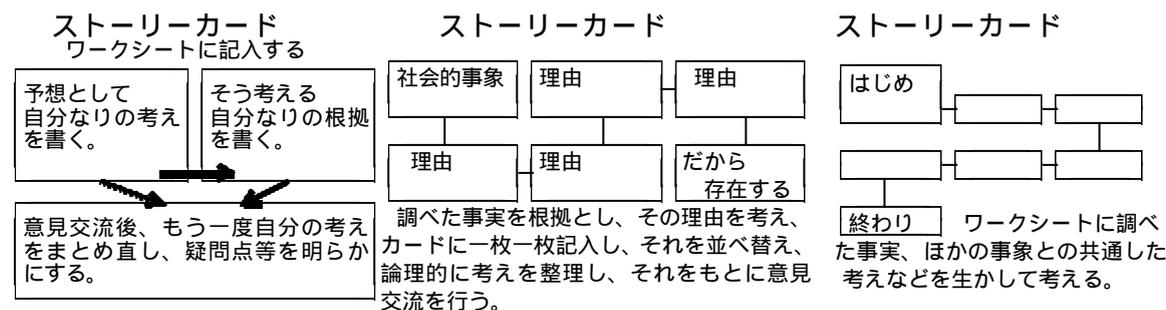
【社会的事象についての知識・理解】

学習活動における 具体の評価規準	「十分満足できる」状況（A）を実現していると 判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断し た児童への指導のてだて
工 の	<p>発言やカード記述の分析を通して 例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霜田用水は、開墾された田に温川の水を引くため江戸時代にたくさんの人々の苦労によって開かれ、今でもそれが大切に利用されている。</li> <li>・畔宇治神社の石灯籠は加部安左右衛門が寄進し、人々が大切に守ってきた様々な願いが込められたものである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の問題を解決していくために欠かすことのできない事柄を理解していない児童には、その原因を探り、例えば次のような具体的なてだてを講じて個別に指導・支援する。</li> </ul>
工 の	<p>地域に残る史跡には、造られた当時の人々やそれらを守り受け継ぐ人々の願いや努力が込められていることがわかっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉岡神社の太鼓橋は、石造りで細工が施されもので、参道の入り口にあり、地域の人々が神楽と共に受け継いできた財産として様々な願いや努力が込められている。</li> <li>・大戸の関所は信州街道を守る役割とされ、大戸、本宿、須賀尾の各宿があり、とても栄え、街並みを今でも残している。</li> <li>・獅子舞(大戸・萩生・本宿・須賀尾)には、昔からの踊りやお囃子を受け継ぎ、様々な願いが込められている。</li> </ul> <p>などの事実のいくつかに着目し、史跡に共通した地域の人々の願い・努力が具体的にわかっていると判断できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町カルタや文化財パンフレットなどの資料と、児童が実際に調べたことを結びつけながら繰り返し学習させる。</li> <li>・見学や調べた場所の写真などを活用して、どこまで理解しているか教師が確認し、必要に応じて補説する。</li> <li>・調べたことについて児童と対話をする中で、図を用いて思考を整理させる活動を通して確認し、必要に応じて補説する。</li> </ul>

## 2 指導と評価の計画

学習過程	主な学習活動・内容 学習活動への支援	形態	具体的評価規準	評価方法等
学習の問題をつかむ	「坂上の古いものを探そう」	個別	ウの	・地域に残る「古いもの」にどのようなものがあるのかワークシートの内容の分析を通して評価する。  ・課題発見に向けて、知っていることと知らないことを整理できているかや意欲を持って取り組んでいるかを、発言やワークシート記述の内容の分析を通して評価する。
	共通課題 坂上にある古いもののみみつを探ろう			
	町にはどんな「古いもの」があるのかについて発表し、坂上地区にはどんなものがあるのか調べようとする意欲を高める。 ( 1 / 12 )	個別	イの	
	「古いものはどうしてつくられた？」 坂上にある「古いもの」について知っていることをワークシートに記入し、自分の知らなかったこと、よくわからなかったことなどをカードにまとめる。( 2 / 12 )	個別	アの	
見通し1 古いものそれぞれがつけられた理由について自分の考えをストーリーカード に記入し、そのことについて、意見を出しあい、自分なりの仮説を立て、調べようとする課題をつかむ。 ( 3 / 12 )	グループ	イの	アの	・課題に対する仮説をどのように立てたのかや児童がどのような考えを持っているかを、カード記述の内容や発言の分析を通して評価する。
学習の問題を追究する	「古いものにくわしくなろう」 「古いものがつくられた理由」をさぐる。 それぞれの課題に対する調べる内容、方法について考え、調査の見通しを立てる。( 4 / 12 )	個別	イの	・課題の解決に向けて、何をどのような方法で調べるのかという見通しを持っているかどうかを、発言やワークシート記述の内容の分析を通して評価する。 ・課題の解決に向けて意欲的に調査、見学などを行っているかを、児童の行動観察やカード記述の内容の分析を通して評価する。  ・調査・見学をして課題の解決に必要な事実を見つけ、カードに記録しているかどうかを、児童の行動観察やカード記述の内容の分析を通して評価する。 ・調査したことを根拠に「つくられた理由」についての考えが持てたかどうかを、カード記述の内容の分析を通して評価する。
	計画に沿って調べる。( 5 ・ 6 / 12 )	個別	アの	
	調査したことから理由を考える。 「つくられた理由」についての考えとその根拠についてわかるように、ワークシートやストーリーカード に記入し、それを基に資料をつくる。( 7 ・ 8 / 12 )	個別	エの	
見通し2	「古いものがどうしてつくられた？」 どうしてつくられたかの理由をはっきりさせて、ストーリーカード による意見交流をはかり、当時の人々の願いがあることに気づく。( 9 / 12 )	グループ	イの	・学習の課題をその子なりにどのように解決したかや自分の意見との相違点や、類似点に気づき、史跡に込められた人々の願いについて考えることができたかを、発言内容の分析を通して評価する。  ・それぞれの調査した史跡に共通した願いについて考えることができたかや分かったかどうかを、カード記述の内容の分析を通して評価する。
	他の課題グループを交えてストーリーカード による意見交流を行い、それぞれの事象に共通した願いがあることに気づく。( 10 / 12 )	グループ	イの	
学習の問題を解決する	「古いものをこれからも残すには」 それぞれのストーリーカードをもとに、課題の全く違うもの同士で編成したグループで意見交流し全体で共通した願い、努力について気づく。( 11 / 12 )	個別	イの	・学習の問題をその子なりにどのように解決したか、また「古いもの」を支える人々の努力についてどのように考えているかを、発言やカード記述の内容の分析を通して評価する。  ・史跡を守る人々の願いや努力が分かり、それらを残すためにどのように考えているのかを、発言やカード記述の内容の分析を通して評価する。
	見通し3 古いものがなぜ残っているのか学級全体で意見交流し、これから100年後まで古いものを残して行くにはどうしたらよいかについて、ストーリーカード に記入し、共通した願い、努力について気づき、自分にできることをとらえる。( 12 / 12 )	一斉	エの	

## (2) ストーリーカードについて



## 資料編 2 学習指導案とワークシート（見通し1）

本時の学習（3 / 12）

### （1）ねらい

古いものがなぜ造られたかを予想でき、グループ内で発表することで、一人一人めあてを持って調べようとするきっかけをつかむことができる。

### （2）準備

児童 ・ストーリーカード ・写真入りワークシート・副読本・史跡パンフレット

教師 ・提示用写真資料 ・写真入りワークシート・史跡パンフレット・シート

### （3）展開

学 習 活 動	時	教師の支援および留意点	評価項目
<p>前時の学習を振り返り、本時は調べる古いものを決め、それについての見通しを立てることを知る。</p> <p>・前時の活動を振り返り、調べてみたい古いものを決める。</p>	5	<p>前時の学習を振り返り、どのような古いものがあつたのかやもっと詳しく調べたいものについて考える場を設定する。</p> <p>調べるものを絞れるよう、町史跡パンフレットや写真資料を用いる。</p>	
<p>ストーリーカード に「造られた理由」を考え、記入する。</p> <p>・自分なりの考え、予想を立て、カードに記入する。</p> <p>・考えの根拠についてあつたら記入する。</p>	15	<p>「自分なりの考えでよい」こと、「理由について必ず書く」ことを知らせる。</p> <p>すぐにかけてしまった児童には一つの考えにとどまらず、複数考えて良いことを助言し、次のヒントを与える。</p> <p>人々の生活の様子 いつ頃作られたのか どのように使われたのか</p> <p>記入が見られない児童には、上記のヒントを児童の実態に応じて与え、教師との対話の中で、考えを導いていきたい。</p>	<p>関心・意欲 古いものに関心を持ち、意欲的に追究する。 (ワークシート つばやき)</p>
<p>同一課題グループにて意見交流を行う。</p> <p>・グループ内で「どうして作られたのか」また、そう考える「理由」について考えを出す。</p> <p>・友達の参考になった考えについて、カードに記入していく。</p> <p>・考えについて、質問をする。参考になった意見について発表し合う。</p>	25	<p>考えの手がかりを参考に、意見発表するように、指示をする。</p> <p>カードに記入できるよう、友達の考えも自分の考えのヒントになることを知らせる。</p> <p>友達の考えに対するなぜを大切にしたいので、質問をさせたい。友達の意見を取り入れて考えて良いことを助言する。</p>	<p>思考・判断 古いものについて問題意識を持ち、学習の見通しを持って追究する。 (ワークシート 発言・発表)</p>
<p>自分の考えについて、もう一度見直し、何について調べたらよいのか見通しを持つ。</p>	10	<p>調べる見通しをつかめるよう、作られた時期や当時の人々の生活の様子、使われ方などを考えの手がかりとして示す。</p>	

### 坂上の古いもののひみつを探ろう

ひみつを探ってみたい古いものは？

予想してみよう ↓

どうしてつくられたのだろう。

そう考える理由をまとめよう

何について調べたらよいのだろうか。もう一度考えをまとめよう。

# 学習指導案とワークシート（見通し2）1

本時の学習（9 / 12）

（1）ねらい

調べてきたことをもとに考えた「つくられた理由」について発表し、古いものには、様々な人のかかわりがあることがわかり、また、それに込められた願いがあることに気づくことができる。

（2）準備

児童 ・ストーリーカード ・ワークシート ・調査資料

教師 ・提示用写真資料 ・ストーリーカード 記入用紙 ・ビデオ資料 ・坂上村誌

（3）展開

学 習 活 動	時	教師の支援および留意点	評価項目
調べてきた古いものが、なぜつくられたのかられたのかについて考えを発表することを 知る。 考えを整理し、発表準備をする。	5	ストーリーカードを使い、それぞれの考えについて発表することを伝える。 「            ということから、            を 考えました。」と発言するよう指示する。	
グループ内での発表をする。 一人ずつ発表し、根拠を示したり、質疑の時間を各グループで進める。 必要なことはメモをとる。 ・疑問に思ったこと。 ・詳しく知りたいことを ・新しくわかったこと。 ・反対意見        など。	25	発表後、質問時間をとることを伝え、質問ができるように必要なことはメモをとるように指示する。 一人目安3分で発表するよう指示する。 発表が早く終わってしまうグループについては、次の学習内容の指示する。	技能・表現 調べた結果と考えたことをわかりやすく表現している。 (ワークシート ・発言)
発表を聞いて、それぞれに共通していることについて、考え、ワークシートにまとめる。	10	共通点について考えが及ばない場合は、ヒントとして、「つくられた当時の人々の考え」や「人々の気持ち」を与える。	思考・判断 古いものに託された願いについて事実や他の考えなどから適切に判断し自分の考えをもっている。 (ワークシート)
自分の考えに修正を加える。 ・次時は、他のグループとまぜて発表することを 知る。	5	授業を通してわかったことを自分の考えに付け足してもよいことを伝える。	

社会科学習カード                      月    日    (名前                      )  
坂上の古いもののひみつを探ろう

古いものが造られた理由が分かるストーリーを立ててみよう(下書き)

参考にしたい友達の考えを書いておこう

みんなに共通していることは何だろう



社会科学習カード                      月    日    (名前                      )  
坂上の古いもののひみつを探ろう

他のグループのストーリーで参考になったことを書いておこう

みんなに共通していることは何だろう

## 学習指導案とワークシート（見直し3）

本時の学習（12 / 12）

（1）ねらい

古いものが今でも残っている理由を考えることで、地域の人々の昔から続けられてきた努力があることに気づき、これからも残すために自分たちでできることについて考えることができる。

（2）準備

児童 ・ワークシート（ストーリーカード）・調査資料・書きためてきたワークシート  
教師 ・提示用写真資料 ・ビデオ資料 ・坂上村誌

（3）展開

学 習 活 動	時	教師の支援および留意点	評価項目
<p>今までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古いものに共通していた「願い」について、具体的にどんなものがあったか確認する。</li> </ul>	5	<p>古いものそれぞれに込められた様々な「願い」を児童の言葉でおさえる。</p> <p>確認にとまどう児童には、ワークシートを振り返るよう指示する。</p>	
<p>「古いものがなぜ、今でも残っているのか」について考え、学級全体で意見を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>獅子舞保存会があること</li> <li>春と秋に神社のお祭りがあること</li> <li>人々が苦勞をしてきた。などを手がかりにする。</li> </ul> <p>自分の考え、参考になった考えをワークシートに記入する。</p>	15	<p>残っている理由について考えをもつことができるように、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人々が必ずかかわっていること</li> <li>どんな願いが込められたいたか</li> <li>今でも続けられていることにならがあるか</li> </ul> <p>などを手がかりとしたい。</p> <p>長い年月人々が代々大切に守ってきたこと、努力の積み重ねがあったこと、身近に守る人々がいることなどに気づけるよう言葉がけをしたい。</p>	<p>知識・理解</p> <p>古いものには、当時の人々やそれらを守り受け継ぐ人々の願いや努力が込められていることがわかる。（発言）</p>
<p>「どうすれば100年後に古いものを残すことができるか。」考えを、ストーリーカードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お祭りに参加して手伝う</li> <li>清掃活動をする</li> <li>もっと詳しく知る</li> <li>大人になっても地区に住む</li> </ul>	10	<p>100年後について考えられるよう、どんな努力の積み重ねがあったのか、今までの100年間何を人びとはしてきたのかなどを手がかりとしたい。</p> <p>記入できるよう教師との対話を通して考えをまとめていきたい。</p> <p>一年を通して地域の人々が古いものにどのようにかかわっているかとらえるとともに、未来の地区の姿について考えるよう指示する。</p>	<p>思考・判断</p> <p>古いものに託された願いや努力を生かし、将来まで残すためにできることを考えることができる。（ワークシート）</p>
<p>残すためにできることについて発表する。</p>	5	<p>参考になる考えについて、ワークシートに記入するよう指示する。</p>	

社会科学習カード                      月    日    (名前                      )

坂上の古いもののひみつを探ろう

古いものがなぜ残っているのだろう

のこっている理由を考えてみよう。

「古いものを 100 年後に残すにはどうしたらよいか」

自分のストーリーをつくろう

100 年後にも残すには

## その他のワークシート

「坂上の古いもののひみつを探ろう」

月 日 名前 ( )

インタビューカード 調べたいことを聞いてみよう。

だれに聞く	聞きたいことは	教えていただいたことは

「坂上の古いもののひみつを探ろう」

月 日 名前 ( )

見学カード 調べたいことを本物を見て確かめよう

本物を見て感じたこと・わかったことを書こう
ぎもんに思ったこと・新しく知りたいことをかこう

「坂上の古いもののひみつを探ろう」

月 日 名前 (

)

資料や本でわかったカード

資料や本で調べたことをまとめよう。

資料・本の 名前	調べたこと ~について	わかったことを自分の言葉でまとめよう。 むずかしい言葉もだれでも分かりやすくすることです。

ストーリーカード

B子の作品

なので、きんをつくるうと  
おきょうせんが作り女の人  
もやたら、とうれなくな  
った。 (9)

いじ、ある人が山をのぼ  
ってさかしまにいったか  
うせんとうずきでさか  
まにいった。 (5)

あるときちかみちをみ  
つけた。それをしり女の人  
も男にははけてとうき  
ょうへいっていった。 (6)

そして、せきしょのきまりを作  
った。そして、男の人は寺形  
女の方は女寺形というもの  
をまたないとしたか  
けられなかった。そしてほうりつをさ  
ばりたりやくめをもった。 (10)

みはりをつけれる  
と慰みはりをつけた。 (7)

たから、大戸関  
戸所が作られた。 (11)

たけど、かくにんするた  
けでは、は、は、きり、みわけ  
られな。 (8)

大戸関戸所 (1)

男の人はしごとのた  
まとうきょうへい  
いく。 (2)

その時女の人  
が男の人にはは  
けてとうきょう  
へいといつた。 (3)

あとから女の人  
がいたときずき  
とうきょうまで  
さかしまにいく。 (4)

